

【茨P連 子育てネットワーク オンライン委員会(臨時) レポート】

委員長 美間 久美

1 開催日 令和4年7月28日(木) 19:00~20:00

※接続テスト：7月26日(火) 19:00~19:30

2 参加者 委員長、副委員長他 8名

茨城県教育庁生涯学習課 就学前教育・家庭教育支援室 赤津社会教育主事

茨P連事務局長 (計：10名)

3 ねらい 生涯学習課就学前教育・家庭教育推進室と連携し、会員(保護者)が子育てに関して必要としている情報等について把握し、今後の委員会活動および就学前教育・家庭教育推進室における家庭教育関連施策の改善を図る手がかりを得る。

4 形式 オンライン形式(Zoom)

5 内容 <司会：赤津社会教育主事>

(1) 各地区のPTA研修の実施について

研修の時期、研修のテーマ・内容について連絡

赤津→家庭教育応援ナビに関わるアンケート調査を

8月中旬を目安に、県内の子育てネットワーク

委員を対象に実施したい。皆さんの意見を取り入れながらアンケートを作成するとともに、結果をとりまとめ、9月の子育てネットワーク委員会にて一緒に協議したい。

※子育てに関するエピソードも募集し、子育て漫画などでも取り上げたい。



(2) 子育ての困りごとについての意見交換【意見等(順不同)】

- 市の調査によると、親同士の横のつながりが少なくなっているように思えます。少しでも子育ての知識を得たい、直接、悩みごとを相談したいと考える親も多いようです。
- 不登校の子に対し、親としてどう対応してあげたらよいか戸惑います。一人で悩む親も多いようです。
- 何度も学校生活にストップがかかったこともあって、登校しづらくなってしまった生徒が増えているとのことやSNSでの見えないいじめの発生も心配です。スクリーンショットで画像を取得して、悪用したり、位置情報などのアプリで、子どもや友達がどこにいるか、地図上で表示されるので、いじめに使われているケースもでてきていると聞いています。
- 子どもが学校に行きたくないと言ったらどうしたらよいか。無理やり学校に行かせようとすると逆効果になるとも聞いています。思春期の特性もあり、まずは2-3日様子を見ることも大切と聞いていますが、不登校が長期化してしまう場合もあり、親としてはますます不安になって焦ってきてしまいます。
- 不登校、いじめ、虐待など親の悩みや深刻さの度合いも異なります。LINEなどでのやりとりもよいですが、悩みを直接話せたり、一緒に悩んでくれたりする人がいることが大切だと感じます。顔を見て相手の気持ちを感じながら交流ができる横のつながりが重要だと思います。人と会って話すことも大切なことと思います。
- 子どものオンライン授業に使うために配布されたタブレットも利用時間の制限がされておらず、小学生がタブレットで夜遅くまでユーチューブを見ているケースも耳にします。

どのようにネット利用をコントロールしたらよいのかを悩んでいる保護者もいます。

各市町村によって、タブレットの種類や使用制限などルールも異なるようです。

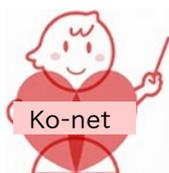
市町村によっては、7時～20時までしか使えない自治体もあるそうです。

相談するところが学校なのか、市町村なのかを知りたいと思っています。

- 再び、コロナの感染拡大で、オンライン授業と通常授業を選べる学校も出ています。小学生の中には「オンライン授業の方が自由で、楽だ」と考えてしまう子供もいるようです。「別に学校にいかななくてもよい」と考える子供たちも増えているような気がします。
- コロナ禍での学習のつまずきに不安があります。学習意欲の高い子と勉強はあまり好きでないという子の差が大きいようです。不登校になるお子さんも出てきているとのこと。親からすると、突然のことで、戸惑ってしまうケースも多いと聞いています。
- タブレットがメインの学習で、実験、実習などがあまりできない時期が、2年以上続いてしまいました。子供たちも分かったつもりでも実際にはきちんと理解していないことも多いようです。各自でやっておいてくださいという部分も多かったように聞いています。
- 子供たちの運動量の低下やストレスの増加も気になる点です。
- アンケートを実施したところ、「子どもに色々なことを体験させたり、挑戦させたりしたいが、感染が心配でなかなか行動できない」など、コロナへの心配と悩みがつつられていました。学習のつまずきのフォローも難しい。家庭の経済状況が新たな格差を生んでしまうとの話も耳にします。子どもたちが生き生き学校に行けるようになることを願っています。
- 結婚後、他の地域から引っ越してくると、知り合いがいない。母親クラブ（子どもサークルなど）を通じて、地元のお母さんと仲良くなった。各自治体でいろいろな人と気軽に交流できるコミュニティがあると助かるお母さんたちもいると思います。

(3) こんな家庭教育支援があったらよい、茨城県家庭教育応援ナビがもっと活用されるための意見交換【意見等（順不同）】

- 結婚後、働きながら子育てとなると、女性の負荷がどうしても大きくなってしまいます。話を聞くだけでなく、実践（乳幼児の子育て、離乳食づくり、共働き夫婦の子育ての工夫など）を教わる場、相談できる場があると、もっと子育てが楽しく楽にできると思います。
- 育児の壁にぶつかったときに、親同士で、気軽に話ができる場があったらうれしい。
- 家庭教育支援ナビには、地域ごとに子育て支援の住所や電話番号が書いてあるが、施設の写真情報や地図などが加わると雰囲気も分かり、行ってみようという気になる。
- 市の子育てネットメンバーのほとんどが、家庭教育支援ナビの存在を知りませんでした。認知度アップを進めていきたいと思います。
- 定期的に家庭教育応援ナビの漫画をインスタやツイッターにアップしてはどうでしょうか。いろいろな人の目に触れる機会が増え、読んでくれる人が増えると思います。
- 赤津➡家庭教育応援ナビのQ&Aが一番、見てくれている人が多いが、中学生、高校生などのQ&Aをもっと充実していきたい。また、多数の子育てに関する動画があります。最近では「パパの子育て」をテーマとした動画をアップしました。パスワード等のかかっていないものは、研修などで自由に使って頂いてよいです。URLもリンクも可能です。



子育ての役立つ情報
があります。気軽に
見てください。



↑家庭教育応援ナビ